

# 環白神エコツーリズム推進協議会設立趣意書



青森・秋田両県に広がる白神山地は、広大で原生的なブナ林とその生態系が、世界的に貴重な価値を認められ、平成5(1993)年、日本で最初の世界自然遺産として登録されました。

白神山地世界遺産地域及びその周辺地域(環白神地域)の、歴史・文化、山・里・海の暮らしや産業は、白神山地の豊かな恵みに支えられています。私たちは、その豊かな恵みをもたらす白神山地の遺産価値を、未来へ継承していかなければなりません。

そのためには、地域の人々が、白神山地の価値を共有するとともに、その価値の保全と、地域の自然・文化資源を活かした観光振興、地域振興の両立を図り、持続可能な地域づくりを目指す、エコツーリズムの推進が必要です。それには、地域住民をはじめ、多様な地域関係者や産業が連携し合い、「環白神」地域として一体的に取り組んでいくことが大切です。

このような認識にたつて、エコツーリズムを通じた環白神地域の振興、及び環白神地域の自然・文化資源の保全と適正利用を推進することを目的として、環白神エコツーリズム推進協議会を設立するものです。

平成23年2月23日

環白神エコツーリズム推進協議会 設立発起人

青森県鱒ヶ沢町

青森県深浦町

青森県西目屋村

秋田県藤里町

秋田県八峰町

青森県

秋田県

東北地方環境事務所

東北森林管理局